

Time:11:05時点

※前回報:4月18日報 Vol:13

統括部 物流・調達課

今週のTOPIC

100~120ドル範囲内で対ロシア産経済制裁と中国コロナ影響により綱引き状態継続

■ [5月CP] プロパン: \$850 (前月比▲\$90)、ブタン: \$860 (前月比▲\$100) ■ [4月MB平均]: \$674 (前月比▲\$68)

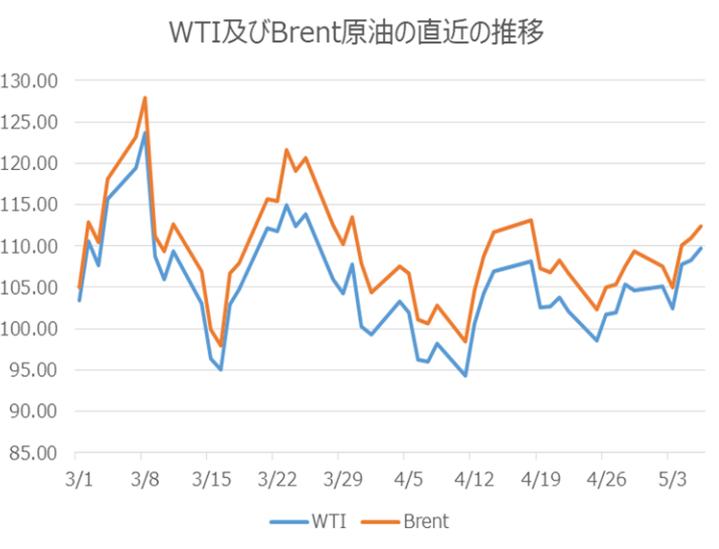
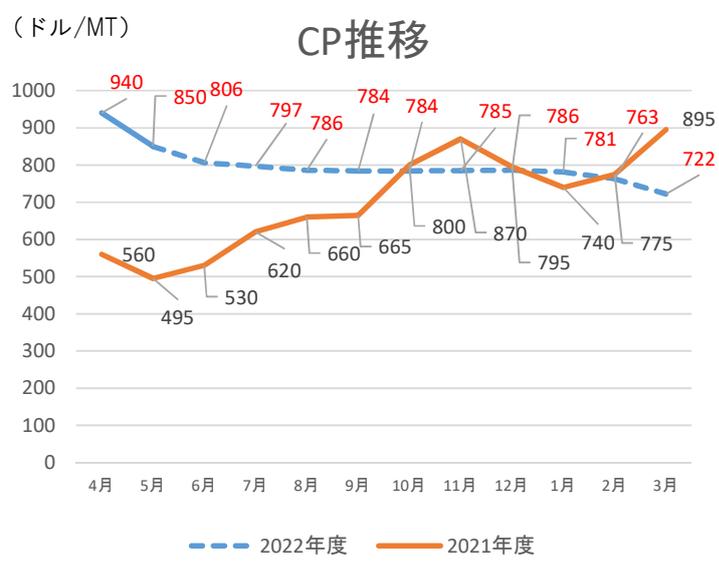
エネルギー市場

原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI	109.28	107.31	+1.97
北海Brent	112.02	112.73	▲0.71

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 6月	806	▲32	84%	▲8%
MB 5月	660	▲39		

プロパン	7月	8月	9月	10月	11月
CP先物	797	786	784	784	785
プロパン	6月	7月	8月	9月	10月
MB見通し	656	655	656	656	656

外航フレートSPOT (USD/MT)	今回	※前回	前回比		
中東-日本	64.0	69.5	▲5.5		
米国-日本 (パナマ運河経由)	125.0	122.0	+3.0		
為替/TTS	5月予測	4月	3月	2月	
USD/円	20日	130.90	124.88	117.21	115.96
	末日	131.73	126.98	119.53	116.22



LPG元売り5月改定幅 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ: +3,700	+4,660
ENEOSグローブ	改定レンジ: +2,940	+3,990
アストモスエネルギー	改定レンジ: +3,200	+4,200
ジクシス	改定レンジ: +3,100	+3,900

マーケット概況			今回	※前回	前回比		
NYダウ (US\$)	32,899.37	34,451.23	▲1,551.86	TOPIX (円)	1,886.63	1,877.88	+8.75
S&P500 (US\$)	4,123.34	4,392.59	▲269.25	金 (Gold) 先物 (US\$)	1,876.41	1,985.90	▲109.49
米国債券10年利回り (%)	3.118	2.872	+0.246	VIX恐怖指数 (%)	30.19	22.70	+7.49
日経平均 (円)	26,419.04	26,759.19	▲340.15				

当レポートの内容は伊藤忠エネクス(株)ホームライフ部門 統括部/物流・調達課の発行日における見解を記したものであり、その正確性、完全性を保証したものではありません。また本レポートの無断掲載・転送・改変を禁じます。

今週のTOPIC

100～120ドル範囲内で対ロシア経済制裁と中国コロナ影響により綱引き状態継続

原油概況

★中国と米国の景気後退懸念が影響し不透明ながら6月以降下げ基調

影響度

強気・
上昇要因

- ① EUのロシア産原油禁輸方針発表により需給逼迫観測
- ② モルガンSが日量100万バレルの年内供給不足見通しを示す
- ③ 米国原油在庫、予測を上回る低水準により需給逼迫意識される

弱気・
下降要因

- ① 中国コロナ感染対策による景気鈍化に起因した需要減少懸念
- ② 米利上げ影響を受けた米国株大幅下落による原油先物市場の弱気観測
- ③ 米利上げ・保有資産縮小に伴う景気後退により需要減速懸念

LPガス概況

★6月CP806ドル(前月850ドル) 前後想定

- | | |
|------|-------------------------------------|
| (強気) | 中国PDHプラント増加とマージン改善に伴う稼働向上見込みにより需要増 |
| (弱気) | 中国コロナ感染拡大に伴うロックダウン影響によりLPG需要の減退懸念 |
| (弱気) | OPEC+の段階的原油増産幅拡大政策に起因した随伴LPガスの増加見通し |

「FOMC (米国連邦公開市場委員会) とは」

FOMCは、FRB(連邦準備制度理事会) 理事と連邦準備銀行総裁が参加し、アメリカの金融政策を決定する委員会。

(例：日本銀行の政策委員会・金融政策決定会合に相当) アメリカの景気が回復すれば引き締め策(利上げ)・景気が後退すれば緩和策(利下げ)を行います。アメリカの金融政策により、株式・債権・為替市場に影響を与え、同じリスク資産である原油にも影響を及ぼします。